



《将来に向けた取組方針》

東レグループは、生物多様性保全を地球環境問題の重要テーマの一つと位置付け、これに取り組んでいます。2010年には、生物多様性保全に努めるグループの基本的姿勢を示す「東レグループ 生物多様性基本方針」を策定しました。また、2018年には「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」を策定し、「2050年に向け東レグループが目指す世界」として「誰もが安全な水・空気を利用し、自然環境が回復した世界」等を掲げるとともに、その実現に向けて、GHG排出量や用水使用量の削減を含む「2030年度に向けた数値目標」を設定しました。これらの確実な達成を目指し、今後も生物多様性保全に資する取り組みを推進してまいります。

〈具体的取組み事例〉

1. 事業活動と生物多様性の関係性マップ作成

原材料調達から始まり、製造、輸送、製品の使用、廃棄またはリサイクルに至るライフサイクルを通じて、東レグループの事業活動が生物多様性に与える影響をリスクと機会の両面で整理した関係性マップを作成。

2. 緑化保全活動の実施

「東レグループ 緑化基本方針」（2012年6月改訂）に沿って、地域在来の植生を考慮した、自然生態に近い樹林方式による緑化保全活動を実施。



東レ(株)基礎研究センター(鎌倉)の樹林地

3. 地域の環境保全活動の実施

NPOや自治体などと連携し、地球環境や生態学を学びながら河川敷を清掃する活動等を継続的に実施。



4. 産官学の連携

東レ(株)東海工場(愛知県)が、2019年10月より「知多半島生態系ネットワーク協議会」に加入し、企業緑地群をつなぎ、いきものも人も心地よく暮らせる環境づくりを目指す「命をつなぐPROJECT」に参画。知多半島における生物多様性の保全、自然との共生の推進に向け、臨海部の近隣企業、行政、地域学生との協働を開始。

〈今後の課題等〉

東レグループは、CSR推進の3カ年計画である「CSRロードマップ」の中で、生物多様性保全にかかる具体的な活動目標やKPIを設定しています。

現在検討中の次期CSRロードマップ(推進期間:2020年度~2022年度)においても、生物多様性保全にかかる意欲的な目標を設定し、その確実な達成に向けて、グループ全体で継続的に取り組みを進めていきます。

〈社会に向けたメッセージ〉

東レグループは、「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」との企業理念のもと、長年にわたり、事業を通じて、様々な地球環境問題の解決に貢献してきました。

これからも、生物多様性保全を含む地球環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。